

## 令和7年度 岡崎市文化財保存活用地域計画協議会

開催日時：令和8年3月4日（水） 午前10時30分～午前11時30分

開催場所：岡崎市役所西庁舎7階 701号室

出席委員：14名

瀬口哲夫委員（会長）・杉野丞委員（副会長）・島津達雄委員・三浦正幸委員・  
榎井泰晴委員・河内利弘委員・八木則行委員・早川久右衛門委員・深田賢之委  
員・竹田晴香委員代理・山田能正委員・畔柳久司委員・松澤耕委員・浅岡克徳  
委員

欠席委員：0名

説明のために出席した事務局職員：6名

社会教育課：柴田英代社会教育課長・浦上大助社会教育課副課長・  
岡山幸男文化財係係長・遠藤研吾岡崎城跡係係長・浦野加穂子文化財係主査・  
久野千秋岡崎城跡係主事

傍聴者：なし

### 議事内容

- 1 会長及び副会長の選出について
- 2 議題  
(1) 岡崎市文化財保存活用地域計画の事業進捗について

### 議題及び議事の要旨

- 1 会長及び副会長の選出について  
会長…瀬口哲夫委員  
副会長…杉野丞委員
- 2 報告事項  
岡崎市文化財保存活用地域計画の事業進捗について

#### 【社会教育課説明】

岡崎市文化財保存活用地域計画について、令和7年度の事業実績と令和8年度の事業の取組予定を報告する。

#### 【質疑応答】

委員：岡崎城は整備が進んでおり、岡崎城だよりなどが発行されているが、岡崎城に行かないと入手できない。市民にもっと文化的な活動をアピールする場所や機会を増やすべきである。

事務局：岡崎城だよりは市役所の庁舎や岡崎城の展示スペースで配布しており、ホームページでも公開している。来年度はりぶら（市図書館）等にも発掘調査の展示スペースを設ける予定である。

委員：資料2 能見神明宮大祭の頁に「岡崎城下のマチ衆の」とあり、保存活用地域計画に城下町の図があるが、岡崎城下はどのような統治機構で、岡崎城下町に含まれる町の範囲がどこまでか、明確になると良い。

事務局：岡崎城下町のあり様については、確認して回答する。

委員：旧額田郡公会堂の民間事業者への活用意向調査の結果を知りたい。また岡崎

- 城跡の石垣保存は、地域計画の最終年令和 12 年までにどこまで行う予定か。
- 事務局 : 修理後の活用については、令和 5 年度に国土交通省のサウンディング調査と市企画課の公民連携プラットフォームで様々なご意見を頂いた。重要文化財で現状変更には制約があるが、保存修理には 8 年かかる見込みのため、修理を進めながら活用案の具体化をしていきたい。
- 岡崎城跡の石垣保存修理については、令和 8 年度に岡崎城跡内の全ての石垣を計測する三次元測量が完了する予定、石垣変位計測は危険度の高い石垣の動きを確認するものであり永続的に進めていく事業と考えている。石垣保護ネットの設置は令和 8・9 年度に危険度の高い場所を終える予定で、令和 12 年度まで取り組む事業として発掘調査の場所や今後の整備等については、城跡整備委員会で検討していきたい。
- 委員 : 文化財建造物の活用について、課題は何か。
- 事務局 : 資金の確保、維持管理費、人員確保などが課題である。
- 委員 : 文化財建造物は資金があれば自由に修理して良いわけではない。また復元するだけでは資金を生み出すことはできない。復元修理後に活用のために建物を改修することの無いように、何が課題かを明確にして、復元と活用を同時に考えながら計画を立てた方が良い。重要文化財でも半田の中埜家住宅のようにカフェとして活用することは可能。活用か保存か、市の方針を検討して欲しい。文化財の良さを市民が実感できるようにして欲しい。
- 委員 : 岡崎市内には岩津城など多くの城跡があるが、山中城はあまり整備されていない。文化財指定の基準や、文化財に市が干渉していくのかを伺いたい。
- 事務局 : 岩津城は地元が管理していけることを前提に指定している。今後、市で活用することは考えていない。山中城も地元で管理していただいております、市で整備していく計画はない。
- 委員 : 岡崎市内の中世城郭のリストはあるのか、またいくつ位あるのか。
- 事務局 : 埋蔵文化財包蔵地の城館として市内 105 箇所が登録されている。
- 委員 : 松平や家康以降が注目されているが、家康以前の中世にも調査が行き届くと良い。
- 委員 : 30 年位前に文化庁主催で各都道府県の中世城館跡を調査し、報告書が出ている。縄張図と歴史と評価が記されており、リストはできている。
- 委員 : 評価が高いものについて、現状確認することを検討してはどうか。
- また地元が保存するということが、文化財の保存会のリストはあるか。保存会があれば文化財の状況や予算が把握でき、保存も進むのではないかと。
- 委員 : 主な事業進捗を示した資料 2 について事務局が報告し、着実に進捗していることがわかる。計画全体を示した資料 1 について委員から意見はあるか。
- 資料 1 のうち防災・防犯の項目の報告がない。計画全体をとおして進捗の説明があると良い。
- 委員 : 旧額田郡公会堂の活用方法について、レストランなど収入を考えた方が維持できる。八丁味噌本社も国登録文化財だが、商売しているので維持できるが、寺社が個人で修理など維持管理していくのは大変だと思う。
- 委員 : 民間が所有している重要文化財で活用に成功している例はあるか。
- 事務局 : レストランなど重要文化財の活用に成功している例は全国的にある。重要文化財のため活用できないのではない。現状変更に対する文化庁のハードルが

- 高く一定の制約はあるが、この建物に適した活用方法を検討していきたい。
- 委員 : 対策としては別棟を作れば良い。門司の重要文化財のレストランの例があり、収入を得ている。
- 社寺の維持について、氏子や檀家が少なくなっているが対策はあるか。
- 事務局 : 文化財を護るために担い手不足を解消する対策として、市民が参加する機会を増やし、文化財を大切に思う人を増やす取り組みが必要だと考えている。
- 委員 : 氏子が少なくなると神主が維持できなくなり、掛け持ちが増えて衰退していく。宗教的な問題であり難しい問題である。
- 委員 : 旧本多忠次邸の現在の活用について知りたい。また指定管理者制度の導入の検討について、指定管理は良い例が多くないので、市で採算の取れる活用方法について検討して欲しい。
- 事務局 : 現在ひなまつり展を開催しており、年間では1万人程の来館者がいる。指定管理者制度は今すぐの導入を想定しているわけではなく、可能性も含めて検討していきたいと考えている。
- 委員 : 今年は市政110周年で、民間でも岩津城も信光公600年祭ということで動いている。民間と市が連携していけるとよい。
- 委員 : 岡崎市文化財保存活用地域計画の事業については、本日の議事を踏まえて進捗するという事によろしいか。
- 委員 : 異議なし。

## 2 その他

次回の協議会は来年度に開催予定である。